

カスタマサービス	研修コース群	研修コース名														実施対象上級
		知識項目							技術動向							実施対象上級
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名														実施対象上級
		知識項目							技術動向							
システム保守管理	リモートメンテナンス ・リモートメンテナンス手法、ツール、プロセスの活用、実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
システム保守管理	ソーシャルエンジニアリング ・機密情報漏洩対策(電話でのなりすまし、パスワードの問い合わせやゴミ箱あさりなどへの対策)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	最新技術動向 ・国内外の市場規模、動向の把握と活用 ・API/SDKとの連携による技術動向の把握と活用 ・ビジュアル特許に関する技術動向の把握と活用 ・次世代のeビジネスとその発展の把握と活用 ・最新セキュリティ技術動向の把握と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	インターネット技術 ・インターネットの歴史 ・Webに関する技術 ・メールに関する技術 ・暗号化技術 ・デジタルメディアに関する技術 (VoIP, Streaming, QoSなど)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	コンピュータシステム ・ハードウェア ・基本ソフトウェア ・システムの構成と方式 ・システム応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	コンピュータ科学基礎 ・情報の基本理論 ・データ構造とアルゴリズム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	システムの開発環境 ・システム開発手法 ・言語、ツール、ソフトウェアパッケージの把握と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	システムプラットフォーム技術 ・オペレーティングシステム技術の活用と実践(メインフレーム、分散機、オブジェクト、UNIX, Windows, Linuxなど)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	データベース技術 ・データベースのモデル ・データベース言語 ・データベースの制御	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	ネットワーク技術の理解と活用 ・プロトコルと伝送制御 ・符号化と伝送 ・ネットワーク接続法規 ・ネットワークセキュリティ ・通信機器 ・インターネット ・ネットワークソフト ・ATM、フレームリレー、LAN、WANなど回線に関する技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テクノロジ	プログラミング言語 ・C, C++, COBOL, Java, UML, HTML, XMLなどの各種言語 ・表記法の特徴 ・グラフィカルな開発環境の使用法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
業務分析	技術属性分析 ・現行IT環境分析 ・新規技術属性の把握 ・ニーズの分析と優先順位付け	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
業務分析	情報化と経営 ・情報戦略 ・企業会計 ・経営工学 ・エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用 ・関連法規の理解と遵守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デザイン	開発環境設計 ・開発環境条件の定義 ・プラットフォーム定義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	システム監査 ・システム監査の基礎 ・システム監査の範囲 ・システム監査の実施と報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	標準化 ・開発と取引のプロセスの標準化 ・情報システム基盤の標準化 ・データの標準化 ・標準化組織の把握と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	オブジェクト指向開発 ・オブジェクト指向の基本概念 ・UML ・オブジェクト指向開発プロセス ・分析、設計、実装 ・主なオージェクト指向技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	セキュリティシステムの実装、検査 ・セキュリティ製品、ツールの選定、導入 ・セキュリティ機能の開発 ・セキュリティ技術の実装	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	セキュリティとプライバシー ・セキュリティ対策(機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウイルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング) ・プライバシ保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	テスト技術 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・アストールの活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	デバッグ技術 ・デバッギングツールの活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	プログラミング技術 ・各種プログラミング言語技術の活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	プログラム設計 ・開発手法とプラットフォームの選定 ・プログラム設計基準 ・プログラム設計書の作成 ・テスト計画と仕様の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	開発支援ツールの活用 ・開発環境 ・生産性向上ツール・開発ツール ・構成管理ツール ・バッガ、シミュレータ等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	開発手法 ・開発手法の選定 ・開発手法の活用と実践 ・ウォーターフォール型、RAD型、スパイラル型 ・業務パッケージ固有の開発手法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	外部設計 ・外部設計の手順 ・システム機能設計 ・データモデルの設計 ・外部設計書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	再利用手法 ・ソフトウェア部品の利用 ・先行プロジェクトの成果物利用 ・再利用手法の活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	設計手法 ・オブジェクト指向設計 ・構造化設計 ・データ庫設計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアエンジニアリング	内部設計 ・構造設計 ・インターフェース設計 ・内部データ設計 ・サブコンポーネントの識別、役割定義 ・サブコンポーネント間の関係定義 ・内部設計書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

カスタマサービス	研修コース群	研修コース										実施対象上級	
		基礎知識					実施対象上級					実施対象上級	実施対象上級
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名										実施対象上級	
		知識項目	IT 基本 1	IT 基本 2	システム・人間関係性の基礎	インダストリアル・リードヤード	リーダシップ基礎	セキュリティ・ショット基礎	コミュニケーション基礎	技術基礎	最新技術専門	技術基礎	実施対象上級
システム運用管理(ハードウェア)	24時間365日稼働システムのメンテナンス ・リモートセンタとの相互バックアップ体制の維持運営 ・重要なデータ保全体制の維持運営 ・24時間365日稼働のための保守整備	IT 入門	ハーナーネル入門	プログラミングの基礎	システム・信頼性の基礎	インダストリースタータード	リーダシップ基礎	セキュリティ・ショット基礎	コミュニケーション基礎	技術基礎	最新技術専門	技術基礎	新規開発手法・標準化・規格化
システム運用管理(ファシリティ)	ファシリティ運用管理方針 ・ファシリティ運用分析 ・ファシリティコンボーネント別運用管理方針の策定支援 ・ファシリティ運用基準点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
システム運用管理(ソフトウェア)	リモートセンタとの相互バックアップ体制 ・トランザクション負荷変動の平準化 ・障害時のモニタリングの処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ハードウェア基礎知識 ・電気、電子、機械、光工学基礎知識の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ハードウェア製品・インスペクション ・インスペクション・計画立案手法の活用と実践 ・インスペクション・プロセスの活用と実践 ・仕様書・インストラクションマニュアルの理解と活用 ・ハードウェア製品・インスペクションの実践 ・インスペクション・完了手続きと報告の実践 ・リモートセンタとの相互バックアップ体制の設計と導入 ・重要なデータ保全体制の設計と導入 ・24時間365日稼働のための設計と導入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ハードウェア製品・インスペクション ・メンテナンス計画の立案 ・メンテナンスツールの選択と活用 ・メンテナンススケジュールの選択と活用 ・ハードウェア製品メンテナンス作業の実践 ・メンテナンス完了手続きと報告の実践 ・予防保守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ネットワーク・メンテナンス ・エラーコードの解析 ・ログの解析 ・メモリダンプの解析 ・トレースツールの理 解と活用 ・問題判別とトラブル解決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ハードウェア関連国際標準および関連規格 ・品質管理 ・機器やシステムのセキュリティ機能評価の国際基準 ・ハードウェア互換性規格 ・関連 JIS 規格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハードウェアテクノロジ	ハードウェア製品修復技術 ・ハードウェア内蔵診断プログラムの理解と活用 ・障害診断プログラムの理解と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	IT キャリアキャリア(ソフトウェア) ・ソフトウェアアーキテクチャの理解 ・ソフトウェアアーキテクチャの理解 ・オペレーティングシステム技術の理解 ・リモートオペレーション ・ストレージ相互バックアップシステム ・SAN サポートシステム ・リモートセンタ間の同期処理 ・分散ランダムシンク処理 ・ソフトウェアシステムの信頼性と可用性と保守性の理解と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	ソフトウェア製品・インスペクション ・インスペクション・計画立案手法の活用と実践 ・インスペクション・プロセスの活用と実践 ・仕様書・インストラクションマニュアルの理解と活用 ・ソフトウェア製品・インスペクション作業の実践 ・インスペクション完了手続きと報告の実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	ソフトウェア製品・メンテナンス ・メンテナンス計画の立案 ・メンテナンスローテーションの活用と実践 ・メンテナンスマニュアルの理解と活用 ・ソフトウェア製品・メンテナンス作業の実践 ・テストツールの活用 ・メンテナンス完了手続きと報告の実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	アプリケーション・サービス ・Webによるアプリケーションサービス ・ERP ・電子商取引 ・クラウド／サーバー方式 ・Web・データベース技術とセッション管理の方法 ・認証及び暗号化技術と署名化方式 ・大規模アプリケーションの連携に関する技術と製品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	システムソフтверア製品とその稼働環境 ・マルチプロセッサと大容量ストレージなどのハードウェアアーキテクチャと最新ディスク ・キャッシュ、通信制御、トランザクション処理、分散処理、並列処理、システム資源の仮想化と抽象化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	システム管理製品 ・サーバーやネットワークなどの監視対象のシステム資源やプロセスの監視技術 ・システムソフтверアやミドルウェアの管理機能のインフラ・技術 ・アプリケーションのパフォーマンス計測技術 ・ハードウェアやソフトウェアの構成管理機能とソフトウェア配布機能 ・ジョブ管理、遠隔操作機能、アクセス管理、ユーチューブ管理、リスク管理、ストレージ管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	セキュリティ技術動向 ・シングルサインオン技術動向の把握と活用 ・PKI技術動向の把握と活用 ・セキュリティアドミニストレーティョン技術動向の把握と活用 ・情報漏洩防止技術の把握と活用 ・電子署名技術の把握と活用 ・ファイアウォール技術の把握と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	ソフトウェア製品・品質管理 ・ソフトウェア製品の品質特性 ・ソフトウェアライセンス・ライブル・プロセスの国際規格 ・OSIレイヤ規格 ・関連 JIS 規格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	ネットワーク技術の理解と活用 ・プロトコル・伝送制御 ・符号化・伝送 ・ネットワーク関連法規 ・ネットワークセキュリティ ・インターネット ・通信機器 ・ATM、フレームリレー・LAN、WANなど回線に関する技術 ・TCP/IP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトウェアテクノロジ	データベース ・データベースセキュリティ、データウェアハウス、オンライン分析処理、データマイニング、オブジェクト指向データベース、オブジェクトリレーションデータベース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	最新ファシリティ、ネットワーク製品技術動向の把握と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	物理ネットワーク(通信ネットワーク)の設計、施設、維持運営 ・通信技術の基礎(伝送メディア、伝送技術、配信方法、通信) ・電気通信設備(ネットワーク)計画と設計施工の基礎、標準の把握と活用 ・通信ネットワークの災害時バックアップ体制の設計施工と維持運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	物理ネットワーク(通信ネットワーク)施設(設備)の敷設の安全管理実践 ・ケーブル配線の接続(アース)の確認 ・設備機器の接地(アース)の確認 ・一次電源と二次電源の分離の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修コース・知識項目マトリクス(カスタマサービス)	研修コース群	研修コース名										知識項目										
		基礎知識					実践知識					基礎知識					実践知識					
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名										知識項目										
		IT 基本 1	IT 基本 2	システム・操作性の基礎	インダストリアル・リード	リーダシップ基礎	コミュニケーション基礎	セキュリティ・リテラシー基礎	最新技術専門	新技術専門	IT 入門	ハーナブル・スル・アド	プログラミングの基礎	システム・信頼性の基礎	インダストリースタータード	リーダシップ基礎	セキュリティ・リテラシー基礎	最新技術専門	IT ニュース・リポート	セキュリティ活動	最新技術専門	
ファシリティマネジメント	データセンタ施設設計施工と維持運営 ・建築設計施工の基礎 ・電気設備計画と設計施工 ・空調設備計画と設計施工の基礎 ・環境設備の設計導入要件策定 ・環境設備設計、施工管理 ・環境設備設計、施工と管理及び維持運営ツールの活用と実践 ・障害対策 ・IT機器類の耐震、免震装置設置管理 ・スペースと換気・居住性との建築施工管 ・リモートセンタとの相互バックアップ体制の設計施工と維持運営 ・重要データ保全体制の設計施工と維持運営 ・24時間365日稼働のための保守整備 ・キャビン(管理体制)手法、ツール活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ファシリティマネジメント	コンピュータシステム導入、移転、更新、移行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	防災・消防設備設計と施工、維持運営 ・防災の対策の基礎と消防施設設計と設計施工の基礎 ・リスク管理 ・防災と消防設備の導入要件策定 ・防災と消防設備設計施工管 ・防災防犯設備維持運営 ・設計施工と維持運営ツールの活用と実践 ・灾害対策設備設計施工管管理技術の活用と実践 ・セキュリティ設備設計と設計施工	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	環境対策 ・エネルギー、環境施設(設備)の設計と施工 ・環境関連規格の把握と活用(建築資材リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法等) ・環境対策基準(建設副産物の削減およびリサイクル)の遵守 ・環境対策管理手法の策定と活用 ・環境対策関連設備知識の活用 ・グリーン購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	施設(設備)関連認定資格 ・建築、電気、機械、通信ネットワーク等の専門領域における認定公の資格取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	コスト精算 ・トータル・コスト見積の実施 ・ボトル・アップコスト見積の実施 ・見積ツールの活用と実践 ・コスト・見積方法論の活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	コスト管理 ・コスト変更管理の実施 ・進捗状況評価基準の把握、実践 ・EVMS(Earned value management)の活用と実践 ・コスト管理ツールの活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	データセンタ施設の防犯、防災等の安全管理関連知識 ・建築安全 ・電気安全 ・安全衛生の確保 ・労働安全衛生関係法令 ・安全衛生管理体制と統括安全衛生管理の計画と実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	ファシリティの情報性、可用性、保守性 ・ファシリティ情報(ネットワーク(通信ネットワーク))の信頼性 ・可用性、保守性の基礎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	ファシリティマネジメント法規と標準の基礎知識 ・安全衛生管理の基礎知識 ・環境関連法規の基礎知識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	ファシリティマネジメント技術問題解決手法 ・各種空間設計のメドレージの活用と実践 ・建物強度の知識の活用と実践 ・配管設計の知識の活用と実践 ・電気工事配線の知識と活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	安全衛生関連法規の基礎 ・危険物の取扱、貯蔵、処理に関する法令 ・ビル衛生管理法 ・労働衛生管理法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	建築の基礎知識と建築用製図(CAD)基礎知識 ・建築の基礎知識 ・建築用製図CADの知識と操作技能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	財産安全確保 ・床強度、什器の転倒防止、落下物防止、機器等の転倒防止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
品質管理の知識	品質管理の国際規格、TQM(Total Quality Management) ・品質管理の確保 ・回復管理における品質管理 ・可変性管理における品質管理 ・キャビン(管理体制)における品質管理 ・品質の監視と対策 ・防災、灾害、セキュリティ対策における品質管理の実践 ・統計的品質管理手法の活用 ・通信設備技術の品質管理(伝送メディア、伝送技術、配信方法、通信)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファシリティマネジメント	品質プロセス ・品質管理 ・プロジェクト・マネジメントの品質に関する指針、関連JIS規格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト統合マネジメント ・プロジェクト・スコープ・マネジメント ・プロジェクト・計画 ・スコープ定義 ・WBS作成 ・スコープ候補	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト・タスク・マネジメント ・アクティビティ定義 ・アクティビティ順序設定 ・アクティビティ資源見積り ・アクティビティ実行期間見積り ・スケジュール作成 ・スケジュール・コントロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト・コスト・マネジメント ・コスト見積り ・コストの予算化 ・コスト・コントロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト品質マネジメント ・品質計画 ・品質保証 ・品質管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト人的資源マネジメント ・人的資源計画 ・プロジェクト・チーム編成 ・プロジェクト・チーム育成 ・プロジェクト・チームのマネジメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント ・コミュニケーション計画 ・情報配布 ・実績報告 ・ステークホルダー・マネジメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト・リスク・マネジメント ・リスク・マネジメント計画 ・リスク識別 ・定量的リスク分析 ・定量的リスク分析 ・リスクの対応計画 ・リスクの監視・コントロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトマネジメント	プロジェクト・購入マネジメント ・購入・取得計画 ・契約計画 ・納入者回答依頼 ・納入者選定 ・契約管理 ・契約終結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リーダシップ	リーダーシップ ・リーダーシップの基本や原則の把握と実践 ・チームワークによるミーティングの実践 ・プロジェクト目標の設定 ・プロジェクトの推進 ・プロジェクトの実行 ・プロジェクト・マネジメント ・チームメンバーの連携 ・チームメンバーの動機付けと達成感の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション	2Wayコミュニケーション ・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コミュニケーション	情報伝達 ・プレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式または非公式の書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

